さっぽろ第２支部　支部だより

あじさい

発行／公益社団法人北海道看護協会　札幌第2支部　令和6年9月

第40号

看護師職能研修会・交流会

2024年（令和6年）7月20日(土)

「現場で活かせる！認知症ケア～生活者として捉え、意思決定を支援する～」と題し、有限会社グッドライフ 取締役 総合施設長 宮崎直人先生をお招きして研修会を行いました。当日は67名の参加があり、認知症ケアに対する関心の高さが伺えました。

研修会では、「認知症の人」と一括りに捉えるのではなく、生活者である「人」にまずは深い関心を寄せその上で認知症を理解していくこと、信頼関係を築くことが意思決定支援につながることを学びました。また、困りごとの中で自立できている所と支援が必要な所を見極め、生活を繋げていくことの重要性が理解でき、実践に役立つ多くのヒントを得ることができました。

交流会では、互いの施設の事例について活発な意見交換が行われ、参加者からは「他の施設の取り組みを聞き、また明日から頑張ろうと思えた」との前向きな感想が聞かれていました。これからも実践に活かせる研修を企画していきたいと思います。

札幌4支部合同　助産師職能研修会 2024年（令和6年）7月20日㈯

CLoCMiP® レベルⅢ認証申請に必要な研修を午前・午後の2部制で実施しました。

午前は、「NPO法人女のスペース・おん」の山崎菊乃先生をお迎えし、女性に対する暴力予防の支援について研修を行い、46名が受講しました。受講者からは、「複雑な背景をもつ女性や家族と関わる機会が増え、日々悩みながら支援をしていたため、とても学びになった」といった感想がありました。午後は、「マミーズクリニックちとせ」の佐藤利江子先生をお迎えし、退院後の授乳支援や離乳支援について研修を行い、74名が受講しました。「事例や乳房モデルを用いての説明がわかりやすかった」「離乳に関しての理解も深まり、入院中から対象者に関わるうえで選択肢の幅が広がった」などの感想が寄せられました。両研修ともに盛会となり、対象者を全人的にとらえ、女性に寄り添い支援するためのヒントを得られた研修会となりました。

助産師職能委員会では、今後も助産師の実践能力向上の一助となるよう研修を企画していきます。

＜午前　山崎菊乃先生＞

＜午後　佐藤利江子先生＞

編集後記

気がつくと空には秋らしい雲が浮かび、日暮れも早まってきました。季節は本格的に秋に向かっていますが、皆さん夏の疲れを持ち越していませんか？秋は食欲や読書、芸術、スポーツなど楽しみがたくさんありますよね。気候も過ごしやすくなって、食べ物も美味しい時期。色々なことに打ち込める絶好の季節の到来です！みなさんも自分に合った楽しみ方を見つけて、秋を満喫して下さいね。

広報出版委員　Y.O.